

## 仙台教会復興工事報告

仙台教会建築委員会

主の御名をあがめます。東日本大震災被災地のために寄せられ、今も寄せられている皆様のお祈りと献身的なお働き、また尊い捧げ物に心よりの感謝と御礼を申し上げます。私共仙台教会会堂の復旧・復興工事も多くのお祈りと御支援により、以下のように、少しずつではありますが進んでおりますことを感謝をもって御報告いたします。(2013.10)

### 1. 礼拝堂復旧・改築工事の進捗状況

- 7月下旬 礼拝堂を教室部分から切り離し、教室部分を解体（プレハブでの集会開始）
- 8～9月中旬 礼拝堂玄関部2階・トイレ増設、オルガン解体移動
- 9月下旬～ 天井補修と塗り替え、礼拝堂床の解体と新基礎設置、新規床張り（近隣施設で礼拝）

### 2. 礼拝堂部分の残工事（11月に完成予定）

- ・屋根補修と塗り替え、外壁補修と塗り替え、オルガンの再設置

### 3. 教室棟（仮称：東北中会復興センター）新築工事

- ・礼拝堂工事終了後に着手。2014年3月完成を目標。

### 4. 祈りの課題

- (1) 必要な資材や業者が与えられますように。圧倒的に、資材と業者が不足しています。
- (2) 地域の方々や中会のためにふさわしい施設を造ることができますように。
- (3) 経済的な必要が満たされますように。

参考：(1) 再建プランの目的：“震災からの復興と新たな中会的施設の整備”

(2) 工事完成予定 2014年3月

(3) 募金期間 2013年6月から1年間

振込先：ゆうちょ銀行 02280-1-136024 「仙台教会会堂修改築募金」

### 5. 仙台教会修改築工事 会計報告（2013年6～9月）

収 入			支 出	
繰越金(支援金残金)		1,447,786	事務費	17,831
献金(教会外)	目標額 1000万円	4,964,311	器具備品	42,760
教会・個人から	2,464,311		引越費	1,260
ミッション協力協議会	2,500,000		建築費	7,000,000
支援金(大会募金)	第一次(残)+第二次	25,000,000	資材費	13,514
献金(教会内)	目標額 1500万円	5,796,493	運賃	28,810
			雑費	9,449
収入計		37,208,590	支出計	7,113,624
融資(教会債)		8,300,000	繰越金	38,394,966
収入合計	総予算 5000万円	45,508,590	支出合計	45,508,590

※ 外部献金者（敬称略・順不同）

教会・団体： 互理伝道所、石巻伝道所、新浦安教会、大阪教会、神戸長田教会、奈良教会教会学校、和歌山伝道所、新所沢教会、ウェストミンスター日本人教会、岐阜加納教会、青森伝道所、東京恩寵教会、太田伝道所、恵泉教会、高松教会、白石契約伝道所、国立聖書教会、田無教会、那覇教会、江古田教会、園田教会、筑波みことば教会、徳島教会教会学校、東京教会、多治見教会、関キリスト教会、ミッション協力協議会、名古屋教会、長丘教会

個人： 田村英典、安藤常吉、保田猛、島田祥子、魚本マーレー・つる子、春名誠、山崎光吾、玉田佐知子、安田直人・真弓、平岡太郎、福井召一

## 陸前高田活動報告

チーム陸前高田 李 根培宣教師

8月19日は36回目の陸前高田訪問、9月はお休み、10月4日は第37回目の訪問でした。私たち家族は9月の1ヶ月間、韓国へ一時帰国し、佐々木金光長老、佐々木和雄長老（映像担当）は9月29日（日）、東部中会・連合執事会の招きで「一信徒として、見た震災後の陸前高田支援報告」と題する講演を東京恩寵教会で行いました。このような理由で、9月の陸前高田訪問は休ませていただきました。

10月4日は第37回陸前高田訪問となり、「本田路津子コンサート」を矢作町のコミュニティー・センター（矢作町コミセン）で開催いたしました。私たちの通常の活動は6つの仮設・200世帯に物資をお届けし、イベントを行うことでした。今回の訪問は矢作町全体の方々を対象に本田路津子さんの歌をお届け致しました。

あの透明な、澄んだ声でデビュー曲の「秋でもないのに」、「ひとりの手」-----が会場に響きました。路津子さんは晩年、痴呆症になりかけた父を語りました。「それでも、父は使徒信条をよく口にしていました。『我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。-----』と。そして、夜空の星を仰いで、父は『夜空の星はすばらしいね !! 』と。路津子さんは「見上げてごらん夜の星を」を歌いました。

今回の会場には、音響設備がありませんでした。サマリタンズ・パースのマイカー・ロレンス様が、その音響設備一切を持参して、操作してくださいました。私たちの予想は50名程でしたが、予想をはるかに超えて、総勢116名(スタッフ19名含む)の集会となりました。仮設の方々はもちろん、矢作地域の人々も多く集まってきました。そして、大船渡にある仮設住宅の人たちもたくさんいらっしゃいました。私たちの予想を超える人数が集まりましたが、実際には、このコンサートのために陸前高田キリスト教会の森田先生と、日本基督教団大船渡教会の村谷先生が協力してくださり、このような恵みあふれるコンサートを持つことができました。陸前高田キリスト教会の森田先生は、矢作地区一軒、一軒を回りながら、教会の案内とコンサートのチラシを配ってくださいました。

大船渡教会の村谷先生はご自身と関係がある福祉施設や、仮設住宅の人々を案内して、会場まで来られました。私は、100名が集まったという人数よりは、地域の教会と先生たちが協力してくださった結果だと思っています。そこに大きな意味があり、価値があるのだと思います。

魚本マレー先生・つる子さんを通じて本田路津子さん、マイカー・ロレンスさんをご紹介いただきました。11名のお客様のご協力もいただきました。チームメンバーの中で佐々木和雄長老が今回の企画を主に担当してくださいました。そして、私たちの真ん中に主がおられ、今日の日の私たちの計画をすべて御手の中で、御心を現わしてくださいました。陸前高田市の夕ぐれの空は実に見事な夕焼けとなり、そして、夕日が沈んで行きました。

「人間の心は自分の道を計画する。主が一步一步を備えてくださる。」(箴言16章9節)



## のぞみセンター活動報告 2013年9月、10月

のぞみセンタースタッフ 加藤恵美

### 仮設住宅での活動

9月は仮設の集会所を映画館チックにセットアップして懐かしの映画鑑賞会をしました。どこにいても人気なのが「男はつらいよ」。初めて会う男性の方もたくさん来てくださり、ポップコーンとソーダ片手に笑いながらみなさんと鑑賞しました。10月は絵手紙教室。秋は描くによし、食してよしのモチーフがたくさん♪台風26号の中でも負けずに開催！すてきなカボチャの絵手紙が描けたら、今度は煮付けが出てきました！絵手紙教室を行うために繰り返し山元町に通ってくださるボランティアさんに感謝です。

### 子どもイベント

9月14日、夏休み中に仲良くなった子どもたちと秋のおでかけをしました。本格アスレチックで冒険です！東関東中会の若者たちが賛美やジャグリング、手品を披露してくれました♪夏休みのキャンプで覚えた賛美をもう一度歌う機会もありで、思わずくちずさんじゃう子も◎ こうして歌を通して、神様のことばが子どもたちに植えられていること、感謝です。



10月は9月と10月のお誕生日の子どもたちのパーティ開催！自分の誕生月を楽しみにして、仮設から来てくれた子どもたちも交えて、大盛り上がるの誕生パーティでした♪

### のぞみセンターでの活動

まずは芸術の秋！もう何度も関東から来てくださっているデザイナーのボランティアさんが今回もすてきな企画を持ってきてくださいました。ちぎり絵の絵はがき作りと、子ども向けアート教室をセンターで行い、好評の内に終了しました。

そして6月にも開催しました、絵手紙教室2回目が開催されました。仮設からセンター周辺のご自分のお家に戻ってこられる方で初めてセンターに足を運ぶ方も多く参加してくださいました。お昼ご飯もみなさんで頂き、ゆっくりとおしゃべりする機会に恵まれたこと感謝です。みなさんが描かれる絵のように、みなさん違って、みなさんステキな方々です♪



### 宮城県といえば！芋煮会



宮城出身ではないのぞみスタッフに芋煮を教えてください！とのかけ声のもと、地元の方々が手伝ってください、芋煮会をしました。芋煮会とは、里芋がメインのごった煮スープを河原など野外で大人数で食べる行事で、主に宮城、山形、福島で行われる秋の季節行事です。今回は台風のため室内で、でもブルーシートをひき野外感を（多少むりやり笑）出して、和気あいあいと行いました。準備中には地元ラジオ局が生中継にやってきました！地域の

方々とみんなで芋煮を作り、ラジオ局にみんなで応える、その一体感がとても嬉しかったです。そして、なによりも素晴らしかったのは、食事の後もたくさんの方が残ってくださり、賛美歌を共に歌い、イエス様の話をできたことでした。地域の方々の心に神様が働きかけてくださっていることを本当に感謝、賛美致します。

## 祈祷課題

1. 関係を深めていけている方々の信仰の受け皿のため  
山元町には教会がなく、地元の方々が福音に触れるチャンスはほとんどありません。センターと共に歩んでくださっている地元の方々がこれからもセンターにつながる事ができ、福音の種が蒔かれ続けるよう、また信仰の受け皿がこの町にできることをお祈りください。
2. 震災後の不安のため  
地震がまた増えています。特に一人暮らしの方々の平安、そして福島第一原発で働いている方の安全、原発事故の収拾の為に共にお祈りくだされば、幸いです。
3. センタースタッフのため  
センターのスタッフが疲れを覚えています。健康とスタッフが働く方向性をはっきりするようお祈りくだされば感謝です。

## お知らせ

のぞみセンターでは引き続き、有給フルタイムスタッフを募集しております。40代くらいまでのクリスチャンの方で、被災地に思いのある方、のぞみセンターにお電話ください。ご夫妻での働きも可能です。0223-35-6901

## \*東仙台教会サクラハウス・クリスマスプレゼント募集！（詳細は別紙をご覧ください）

「わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。」  
(フィリピ1：9-10a)

この祈りの主文は「あなたがたの愛がますます豊かになるように」です。ここでの「愛」は、厳密に文脈に即せば教会内での兄弟愛ですが、広義の隣人愛として受け取ることも赦されるでしょう。それは「キリスト・イエスの愛の心（8節）」が、あなたがたの中で豊かになるようにとの祈りであって、教会の中だけでとどまるせせこましい「愛」など、初めから考えられていません。

この祈りに、さらなる祈りが続きます。「知る力と見抜く力を身につけて、本当に重要なことを見分けられるように」本当に重要なこととは、今一番になすべきことであり、神の御心に即した行動ということになります。それを知り、見抜き、見分けるとは、単に頭で理解するというのではなくて、その御心に従い行動するという事まで言い含んでいます。そのように、神の御心を適切に見分けられるようになるように、そのためにこそ、あなたがたの「愛」がますます豊かになりますように。それがこの祈りの全体です。

「愛」が豊かになることによって、御心を見分けられるようにと、セットで祈られている。これが大事なのです。「愛」が豊かにならないことには、神の御心を見分けることなど決してできないからです。

このような「愛」の心は努力でなんとかなるものではありません。私たちの内には、自分の利益だけ求めたいという決定的な自己中心の方向性があります。罪人とは、愛することのできない存在です。ですから「愛」とは、祈りによってのみ、神から与えられる賜物です。逆に言えばそれは、祈りのあるところに無限に広がってゆく新しい生き方の可能性とも言えるでしょう。